



陽光の園

だより



《法人理念》

・地域で生きて 地域で育ち 地域の力になる

《事業所方針》

- ・利用者の方の一人ひとりが望むその人らしい暮らしが実現できる環境づくりを行う
- ・一人ひとりの居場所や地域での役割、お互いに支える関係の構築を目指す

社会福祉法人 緑葉会

生活介護事業所 陽光の園

令和3年7月28日発行

第44号

7月3日（土）に熱海市伊豆山地区で発生した土石流災害により、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

現在、行方不明の方々が一刻でも早く救出され、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

去る7月2日（金）は大雨警報が熱海市に発令され、午後0時45分に土砂災害警報が発令されました。熱海市下多賀では、線路わきが崩れ JR 伊東線が終日運休になりました。陽光の園から 170m 上の砂防ダムから排水された水が水路から溢れ一時期は道路が小さな川の状態でした。そんな状態で、利用者の皆さんの送迎を開始しました。

陽光の園がある場所は、土砂災害警戒区域にあり、今年6月に土砂災害計画を見直ししました。昨今の大雨により、いつ土石流災害が発生しても対応できる体制づくりを構築していました。

今回の大雨で陽光の園には大きな被害はありませんでしたが、土砂災害警報が発令されていたため7月5日～7日の3日間休園をさせていただきました。

休園したことで分かったことは通所事業所だけでは、障がいのある人が地域で生活するための支援が整っていないことを切実に感じました。特に事業所の建物が使えない状態になった時です。

そのように考えるとアウトリーチ（訪問支援）が通所事業所とともに必要であると思いました。

最後に、伊豆山農園は伊豆山小学校の下に位置するため、様子を見に行くことができていませんが、きっと大きく生長していることと思います。

たなばた？

7月7日は休園しました。利用者の数名が、七夕を楽しみにされていたようで七夕飾りを作っていました。

急ぎよ、笹を用意して願い事と飾りを笹につけました。

利用者の方の七夕に対する強い願いを感じました。



天狗さま

令和3年度 来宮神社御鳳輦奉仕「令和絆楠會」の皆さまがご来訪されました。伊豆山地区の復興と皆さまの無病息災を祈念し麦こがしを撒いていただきました。



お知らせ

ご連絡が大変遅くなりまして申し訳ございません。伊豆山地区で発生した土石流災害により令和3年7月26日から8月5日まで「マリンスパあたま」（熱海市和田浜南町4-39）にて、陽光の園アート展を開催する予定でしたが、開催時期を改めることとなりました。新たな日程が決定しましたらご連絡申し上げます。

～ 8月の予定 ～

8月 5日（木） 身体測定・健康診断

8月 13日（金） 夏季休暇

8月 31日（火） 防災訓練

